

介護の基本Ⅱ

担当教員 馬場 敏彰

配当年次 1年

開講時期 第1学期

単位区分 選択

授業形態 講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

1. 尊厳ある介護の理解と、援助理念を学び、人権尊重の観点を踏まえて職業倫理を身につける。
2. 人間の尊厳を支援する理念としてノーマライゼーション・利用者主体・プライバシーの保護・虐待防止等を学び、職業倫理を身につける。
3. 介護福祉士が専門職として身につけておくべき、理念や職業倫理の理解を深めつつ、介護場面での援助関係構築の意義について学ぶ。

【授業の展開計画】

科目担当者実務経験

馬場：介護福祉士として病院勤務経験・在宅支援勤務経験、介護福祉士養成校教員 他

週	授 業 の 内 容
1	尊厳を支える介護とは
2	利用者への生活支援と尊厳を支える介護
3	生活支援に必要なノーマライゼーションとQOLの考え方
4	尊厳を支える介護の実際
5	利用者主体の介護
6	利用者主体の介護の実際
7	事例を通して考える「利用者主体の介護」
8	介護の倫理（職業倫理、介護従事者の倫理）
9	介護福祉士にとって必要な「倫理」の理解
10	倫理とプライバシー
11	演習を通して考える「倫理とプライバシー」
12	利用者の人権尊重の意義（介護場面における虐待の背景）
13	介護に必要な人権尊重の考え方
14	利用者の人権を尊重した介護の実際
15	尊厳を支える介護の考え方<演習>

【履修上の注意事項】

事前学習として、単元のテキストを読み、疑問や質問を明確にしておくこと。（30分）

事後学習として、講義中のノート・学びをまとめること。指示された課題に取り組むこと。（30分）

【評価方法】

期末試験80% 課題提出10% 講義における積極性10%

【テキスト】

『介護の基本Ⅰ』『介護の基本Ⅱ』中央法規 最新版

【参考文献】

講義のなかで、適宜紹介する。